

7. 日本病院薬剤師会プレアボイド報告件数（件）		令和4年度	令和5年度	令和6年度								
			158	137	132							
解説	<p>薬剤師は患者さんの薬物治療に寄り添い、副作用の回避や治療効果の向上を目指した処方支援を行うことが社会的にも求められています。日本病院薬剤師会では、薬剤師が薬物療法に直接関わることで患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避・軽減した事例を『プレアボイド』と称し、報告を収集しています。</p>											
当院の実績	<div style="text-align: center;"> <p>日本病院薬剤師会プレアボイド報告件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>報告件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table> </div>				年度	報告件数	令和4年度	158	令和5年度	137	令和6年度	132
年度	報告件数											
令和4年度	158											
令和5年度	137											
令和6年度	132											
項目の定義	<p>薬剤師が患者さんの薬物療法に直接関わり、患者さんの不利益(副作用、相互作用、治療効果不十分など)を回避・軽減した事例を報告した数です。</p>											